

文化情報誌

# Passion

・ パッション

特集「モノづくり」



輝くひと 運転士の枠を超えて

四日市あまなみ鉄道運転士 上野理志

FLASH Ode an die Freiheit 「自由への讃歌」

指揮者 木村康人

誌名の「パッション」は燃えるような“情熱”の意味です。

元気な四日市が好き!!  
一般社団法人  
YBK 四日市市文化協会

2021  
mar. 68



ボランティアをしている「認知症カフェ」で、87歳になるAさんが、古賀メロディー「影を慕いて」を渋い喉で聞かせてくれた。今まで全く関心がなかった曲なのに理由もなくメロディーが、歌詞が小波のように私の胸に押し寄せてきた。恋の歌だ。認知症を患うAさんはどのような恋を経験したのだろうか、思い描いていると、元気自慢な私、自らの老いへの感傷が突き上げてきてうろたえた。昭和の時代に生まれたこの

歌謡曲は2020年のこの日から私が口ずさむ一曲になった。

2020年はベートーベンの生誕250年の年。ところがコロナ禍のこと、世界中で用意されていたさまざまな記念企画が、ことごとく中止になったと新聞にある。その中で指揮者でありチェリストの鈴木秀美さんが“ベートーベンイヤーに乗っかからずに済みそうでほっとしている。芸術はイベントではない。今は誰もが自分の居場所でベートーベンと一対一になり、人生とは、世界とは、と自問する時間を与えられている”と語っていることに納得をする。

私にとってベートーベンの一曲は何だろうと軽く考えてみた。すると私の耳元に「エリーゼのために」が流れてきた。70年近く遡る話。田舎の小学校の薄暗い講堂で放課後に一人、いつもY先生が弾いていた曲。運動場で砂ぼこりをたて走り廻っていた私たち子どもに心地よいピアノの音が届く。子どもたちは遊ぶのを止め講堂の木製の扉のすき間から中を窺うと、先生のパーマのかかった髪と広い背中が右へ左へと揺らいでいたのだった。

今までクラシックコンサートには随分通ってきたのだが、なぜかY先生が練習中であっただろう「エリーゼのために」が蘇る。それは「長くつ下のピッピ」でお馴染みの児童文学作家リンドグレーンの言葉を借りれば“遊び死にしないのが不思議なぐらい遊んだ子ども時代”の生气と共にある記憶だからに違いない。



表紙写真 四日市市街の夕景  
写真提供 四日市市

今号は『モノづくり』というテーマから個人、団体、企業などそれぞれの分野の方々から執筆や取材をさせていただきました。



### 3つの「密」を避け かからない、うつさない

四日市市文化協会に関するお問い合わせや、入会のお申し込みは、下記へご連絡ください。

〒510-0057 四日市市昌栄町 21-10

TEL・FAX 059-351-3729

Eメール

ybk@yokkaichishibunkakyoukai.com

開局時間 月曜日から金曜日までの  
13時～17時(祝祭日は除く)

ホームページ

四日市市文化協会 検索

HPが新しくなりました(8/20～)



# Passion

68 2021  
mar.

巻頭によせて

私と一曲

NPO 法人四日市男女共同参画研究所  
代表

坂倉 加代子

## 特集 『モノづくり』

ミニ入道 中納屋町大入道保存会会長 加藤 和博 …………… 2

熟年大学 28 期会の作品展について

28 期会作品展グループ代表 黒木 健二 …………… 3

趣味としての絵本創り『海のぷくぷくようちえん』

井上 進 …………… 4

ロケット技術で萬古焼もつくる町工場の挑戦

中村製作所社長 山添 卓也 …………… 5

### Sparkling Personality 輝くひと

運転士の枠を超えて

四日市あすなろう鉄道  
運転士

上野 理志 …………… 6

FLASH Ode an die Freiheit「自由への賛歌」指揮者 木村 康人 …………… 8

Voice 聞かせて！あなたの声 イラストレーター あっばん appan (森 明日香) …………… 9

四日市地域 まちかど博物館めぐり

酔月陶苑

…………… 10

訪問レポート

折り紙アーティスト

藤波 雄星 …………… 11

人生道中藤栗毛

路傍の自然石考 ⑧ ヤマトタケルの「血の石」

吉川 宗明 …………… 12

(敬称略)

### ＜… パッションひろば …＞

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどを紹介します。

文芸ひろば わすれな草集	…………… 13
令和2年度 四日市市文化功労者	…………… 15
伊藤亘行さん生誕100年を祝う会	…………… 16
第71回 四日市市民芸術文化祭	…………… 17
四日市ほのぼの公募作品展	…………… 17
この人を知る 島崎 守さん	…………… 18
後援事業のご案内/四日市市文化協会入会のご案内	…………… 19
不易流行/リレーエッセイ/理事長のつぶやき/編集後記	…………… 20

# 三入道

中納屋町大入道保存会  
会長  
加藤 和博

実際に動かしてもらって、その仕組み、技術に感嘆の声を上げ続けていた。

## 実物と同じ作りを再現

四日市祭りに欠かせない山車といえば、「大入道」。こどもの頃は首が伸びるのにも驚いたが、目玉が動いたり、舌を出したりするのも不思議で仕方なかった。大人になっても、見慣れたというだけで、その仕組みはわかるはずもない。加藤さんの作ったミニ入道を実

加藤さんはこどもの頃から大入道が大好きで、小学校高学年の時は、山車に乗って手のひらを血だらけにしながら太鼓をたたいていた。中学生になって、選ばれて、からくりの仕組みを教わった。あの大きなからくり人形は、祭りのたびにどこかが必ず壊れるという。それもあって、仕掛けを操作するのは祭り本番の日だけしかできない。しもうときに解体するが、壊れた箇所をチェックして次の祭りの時、修理しながら組み立てていき、構造と動かす仕組みを覚えていくのだという。

大入道の組み立ての説明書はあるが、それ



実物と同じ動きをするミニ入道

にしても一から部品をそろえなければならぬ。定年退職後から作り始めた。木材は細かいパーツに分け、糸をよりあわせ、塗装は3種類のうるしをぬり、接合は釘や接着剤はいつさい使わず、爪楊枝を使って組んでいる。ここも本物と同じ作りになっている。私などは、きつと途中で挫折してしまうだろう細かい作業を、加藤さんは三年で完成させた。

## 大入道を継承するためにも

もともと物作りの趣味があったわけではなく、工作は中学の授業以来だったという。今まで地域のイベントや、小学校で児童たちからくりを見せあげてきたが、次回は桜祭りの時、新道通りの「弥な屋」の前に展示する予定だそう。

このミニ入道は、ぜひ博物館に保存してほしいと思う。四日市が誇る「日本一大きなからくり人形」大入道を末永く保存するためにも。

(レポート 石井 亨)



曲げ伸ばしのできる首

# 熟年大学 28期会の 作品展に ついて

28期会作品展グループ  
代表

黒木 健二

私たち28期会は、平成26年3月に四日市市熟年大学を卒業したOBの集まりで、現在会員数は男女合わせて39名です。

四日市熟年大学は、開設以来30年以上の歴史を持つています。60歳以上の方々が、楽しく学べる場、活動できる場として、『生活に生きがいと活力を持ち、社会参加への意欲を高め、今後の地域社会づくりに生かしていくこと』を目標に、市が毎年受講生を募集しています。教育課程と専攻課程に分かれ、それぞれ午前は講義形式、午後はクラブ活動形式で、1年間活動します。

人員不足で教室を開催できないクラブもあり、現在活動しているのは、銅板工芸・陶芸・水墨画・俳画のクラブです。私たち28期会は、卒業後も同じクラブの応用編という形で学んできましたが、最近やっとそれぞれの個性が出るようになり楽しさも増えてきました。

さて、作品展の展示内容は、現在活動中



作品の説明を通して会話の輪を広げていきます(二枚とも)



のクラブを中心に、現役中に学んだジャンルを続けている会員の作品(書道・俳句)、また会員が趣味で続けてきた作品などです。一人でも多くの方に作品を見ていただけるように会員がチラシの配布や、来場の依頼、またデジタル機器を使ったラインでの作品展の案内の拡散などに取り組みます。そのせいか、毎年、多いときは300名にも上る方たちが見に来てくださりうれしい悲鳴を上げています。

作品展を会員の1年間の文化活動のまとめの場、また会員相互の親睦を深める場と考えていますが、何よりもそれを通じて健康寿命を延ばし、『生きがいのある生活』ができるような取り組みをしていきたいと思っています。

長く続く他のOB会を模範にして、10回の開催が現在の目標!そのためにも、会員の健康と創作意欲の持続が大切です。いろんなところで会員が積極的に取り組める雰囲気を作っていけるよう日々模索しています。

次回も四日市市文化会館展示棟での開催を予定していますので、ぜひご高覧ください。

# 趣味としての 絵本創り 『海のぷくぷく ようちえん』

井上 進

大学卒業後、医薬品企業で、製剤開発、臨床試験、申請業務並びに市販後の業務など、くすりが世の中に出るまでの一連の開発業務



3作目の『海(うみ)のぷくぷくようちえん』

を経験し、その後、がん・認知症の早期発見・診断のPET画像業務に携わりました。おかげで、健康・笑顔の大切さを痛感させていただけました。

## 絵本を創り始めたきっかけ

60歳(定年退職時)にお世話になった方々へ感謝を込めて、自作のものをお渡ししたいと思ったのがきっかけです。孫と一緒に海の絵を描いていると、とっても喜んでくれたので、海の中にある幼稚園で、さかなさんたちが遊んでいるという発想がわきました。『海(うみ)のぷくぷくようちえん』の第一作目です。主人公は、さかなの子どもたちとかがみ先生(なぜか、海の様子をかがみにうつつ能力?をもっている)です。今考えると恥ずかしい稚拙な絵でしたが、ストーリーは面白かったのか、みんな素直に喜んでくれました。

## 絵本創りの大変さ

通勤時間(片道約2時間)や出張などの貴重な移動時間を活用し、思いついた発想をもとに、第二作目に挑戦しました。第一作は、2012年、第二作は、2016年と、偶然、オリンピックの年にできました。今回の第三作目は、第二作の最後に次回作のテーマ(かがみせんせい(なぜか)をあえて記載し、2020年のオリンピック開催年を少し意識し、そのテーマに向かって創り始めました。現実

なかなか難しく、サラリーマンを完全に卒業し、時間的なゆとりができてから、半年かかって、2020年7月にやっと完成させることができました。

## 今後の抱負

趣味の段階を抜けきれない自己流の絵本創りですが、絵本での感動と新しい出会い、孫たちと絵を描いて遊ぶ時の楽しさ(童心って、素敵ですね)など、そんな小さな宝物を大切にして、絵本創りを続けていきたいと思えます。大きな声では言えませんが、将来は、トランペットの吹ける絵本作家<sup>®</sup>になれたらと、まだ、夢に向かって毎日はです。



自宅の書斎にて

井上 進(いのうえすすむ) 68歳

四日市市小生町在住。他の趣味は、野球、水中ウォーキング、女房と買物(アッシー君?)



山添社長と『ベストポット』、新商品の『レンジスター』（全5色）。

# ロケット技術で 萬古焼も つくる 町工場の挑戦

中村製作所 社長  
山添 卓也

中村製作所は難削材（削りにくい素材）の切削に特化した町工場。技術が認められ、同社が削った部品はロケットや潜水艦などに搭載されています。一方2018年には萬古焼鍋『ベストポット』を製造販売しヒット商品に。事業の柱が、鍋と精密部品という一見すると異色な組み合わせ。しかしそこには物語がありました。4代目社長の山添卓也さん（43）に伺いました。

—— 僕が社長に就いたのは、社会人2年目の24歳の時。社長だった父が病に倒れたためです。僕は父がしていたのと同じように、当時の顧客に必死で尽くしました。

けれどリーマンショックの2009年に顧客からの注文が打ち切られ、売上げは90%減。仕事を失い悔しかったです。そして強く思いました、『受け身の待ち工場から脱却したい』と。とは言え一体何から始めれば……。父の誇りは『空気以外なんでも削ります』その言葉を道しるべに、アルミの塊から小さなガラスを削り出し、ノベルティとして配布することに。『何でも削ります、仕事ありませんか？』この出来事が、ロケット部品にも鍋にも繋がりました。

『ベストポット』は、鍋と蓋の接触部分を削って密着性を高めているのが特徴。食材の水分だけで調理する無水調理ができます。

—— 削り出しガラスの配布をきっかけに、多くの出会いとアドバイスをいただきました。

た。陶器を削ることは、窯業の方々にとっては思いもよらない視点だったそうで。



自社の萬古焼工場。今後も新商品を続々発表予定。

『ベストポット』のヒットを追い風に、昨秋には萬古焼工場を開業。さらに今春には、調理皿『レンジスター』を新発売します。求めやすい価格で、電子レンジなどで無水調理ができます。

—— 実は昔の僕は、『空気以外なんでも削ります』という父の言葉や姿勢を笑っていました。『どうせ無理なことだ』と。けれど今では僕のものづくりの拠り所になっています。

中村製作所の自社商品は『MOLATUR A（モラトゥーラ）』というブランド名。これはイタリア語で『削る』の意味。何でも削る心意気で、社長のものづくりは続きます。

（レポート 中村 智恵子）

中村製作所 電話 〇五九一三六四一九三二一  
商品はネットで直販中。『レンジスター』『ベストポット』で検索を。

Sparkling Personality 輝くひと



## 運転士の枠を超えて

—— 四日市あすなろう鉄道  
運転士 上野 理志 さん

あすなろう四日市駅に立つ上野さん

暖かな日の午後、あすなろう四日市駅の改札口の向こうには、可愛らしい車両が停まっていた。なぜこんなに可愛らしく感じるのか？それはこの鉄道が、通常の1435mmよりも狭いナローゲージと呼ばれる762mmの軌間を採用しているか

中井貴一主演の、49歳で電車の運転士になった男の物語「RAILWAYS」という映画をご存じだろうか？  
2010年に公開されたこの映画は、タイトルの通り49歳で企業を退職し、母が一人で暮らす故郷の島根県に戻り、一畑電車（通称はたでん）の運転士になった男の物語だ。これは、実在するローカル線を舞台にしたフィクション映画だが、私たちの身近なローカル線「四日市あすなろう鉄道」には、この映画を地で行くような人がいる。こちらはまるっとノンフィクション。本当に企業を退職し49歳でローカル線の運転士になったその人の名は上野理志さん。いったいどのような経緯で、映画の様な人生を歩む事になったのか、あすなろう四日市駅でお話を伺うことにした。

らだ。当然その上を走る車両もスリムでミニチュア玩具っぽさが漂う。しかしこのナローゲージは全国に3路線しか現存しない貴重な路線で、その内の二つが三重県内の「四日市あすなろう鉄道」と「三岐鉄道北勢線」であり、あと一つが富山県の「黒部峡谷鉄道」だ。末広橋梁や臨港橋共々、三重県は随分と物持ちが良い。

駅の事務所には1泊2日の勤務を終えた上野さんが、制服を着てにこやかに待っていて下さった。制服には、人をステキに見せる魔力がある。

丁寧にお話し頂いた上野さんの来し方行く末を、乱暴なほど簡単にまとめると次の様になる。

● 映画の主人公と違い、小さな頃から運転士になった訳ではない。

● 2012年ごろから問題となったこの貴重な鉄道の存続問題をきっかけに、地域愛と鉄道愛が膨れ上がり、2012年にフェイスブックページ「近鉄内部・八王子線同好会（現・四日市あすなろう鉄道同好会）」を開設し膨大な写真をアップし始める。多くの共感を得て、「いいね」の数は現在3800を超える。

● 2013年に応援者と共に「特定

非営利活動法人 四日市の交通と街づくりを考える会」を設立し、会社勤めの傍ら鉄道沿線のウォーキングイベント、郷土資料館での企画展、無人駅での花植え活動などを次々と実行。また市民や有識者の関心を集めるために、「交通権学会2014年度研究大会」までも四日市市に誘致した。

● 2014年〜2018年、東京転勤にもめげず遠隔地からイベントを企画し、イベントのために帰郷する日々。

● 2018年、早期退職者を募る会社の意向に合わせて退職。帰郷すると、偶然にも四日市あすなろう鉄道に契約社員（運転士）の求人が出た為、会社の中からできる地域振興活動もあるだろうと、フェイスブックやNPO法人の活動から離脱して入社。そして映画と同じく、運転士になるため「メチャメチャ勉強した」（本人談）とのこと。

● 2020年、晴れて運転士となる。

映画と違ってここで「終わり」とはならないのが、進行中のノンフィクションの面白いところ。お話を聞く限り、この先もこの貴重な鉄道と沿線の観



桜の頃、日永駅にて

光資源を活かした地域振興活動は止まりそうにない。確かに鉄道会社の中には、周辺地域の開発と合わせたプロモーションの部署を持つ会社も多い。きっと上野さんならば、会社の中から運転士の枠を超えて、鉄道ファンや地域の人々が喜ぶ事をこの先もやってくれるだろう。四日市あすなろう鉄道は、こうした地域を愛する人達の思いを乗せて走っている。

（レポート 伊藤順子）

# FLASH

## Ode an die Freiheit 「自由への讃歌」

指揮者 **木村 康人**さん



四日市市出身。四日市市立川島小学校卒業。東海高校を中退し渡米。ニューイングランド音楽院別科を経て特待生として2001年マネス音楽大学指揮科卒、2004年国際基督教大学大学院修了。2010年第5回シヨルティ国際指揮コンクール(ドイツ)入選。2016年第2回アトランティック・コースト国際指揮コンクール(ポルトガル)日本人最高位。国内外のオーケストラ、合唱団、オペラ、バレエ、ミュージカルに幅広く登壇。チェンバー・フィルハーモニック東京アーティスティック・ディレクター、東京トリニティ・コール常任指揮者、ICU CMS 管弦楽団副指揮者、新国立劇場バレエ副指揮者ほか現職。

1989年12月25日、ベルリンで「壁の崩壊」を記念する特別な「コンサート」が開かれました。東西ドイツに加え米国、英国、フランス、ソ連といった国々の合唱団、ソロイスト、オーケストラのメンバーらが堂に会し、ベートーヴェンの交響曲第9番(第九)が演奏されたのです。タクトを振つたのはユダヤ系米国人のレナード・バーンスタイン。巨匠にとって人生最後の第九となったこの演奏は、今でも記念碑的名演として語り継がれています。とりわけ第四楽章で歌詞の *Freude*(歓喜)を *Freude*(自由)に替えて歌われたことは、大変センセーショナルでした。東西冷戦の終焉、イデオロギーからの解放という自由社会の到来を感じ取った聴衆は皆、心の底からこれを賞賛したのです。

一方、今日席卷するCOVID-19は、人種、民族、宗教、言語、社会体制、政治的思想等々に一切関係なく、人類の都合を嘲笑つかのようでありとあらゆる自由を奪ってしまっています。世界中の人々がこれまでと異なる生活を余儀なくされ、日本の冬の風物詩とも言える第九の公演はその多くが姿を消してしまいました(私が楽しみにしていた郷里での交響詩《西日市》の公演も残念ながら中止となってしまいました)。こうして人間同士の物理的交流が遮断され、多くの行為が制限されている現在、第九の持つメッセージはかつてない程深く心に突き刺さってきます。それも、恰も困難な当世への挑戦状かの如く。例えばこんなメッセージがあります。

抱きしめられなさい、何百万の人々よ！この口付けを全世界に！  
何度も繰り返されるこのメッセージは常にソロコではなく合唱が歌います。第九は、舞台上のみならず歌詞の内容まで「三密」なのです。次のような諷言もあります。  
そしてそれすら出来ない人は、涙してこの集いから立ち去りなさい！  
シラーの原詩とコンテクストこそ違えども、果たして私達は演奏ができて当然だと勘違いしていなかったか、虚飾なく撃実(げじつ)に音楽に取り組んでいたか、考えさせられる一節として置換されます。バーンスタイン逝去の11日前に開催された東西ドイツ統一式典で演奏されたのも、1964年の東京五輪で統一選手団を派遣した東西ドイツの

国歌の代わりとなったのも、98年の長野五輪開会式で歌われたのも、欧州連合(EU)の「欧州の歌」に制定されたのも、全てベートーヴェンの第九でした。時代を超えて自由の象徴であり続けてきた第九を、再び誰しもが声高に歌えるようになるのはいつのことでしょう。その夜明けまで音楽文化を、ベートーヴェンの遺した魂を絶やしてはなりません。今まさに芸術の力と忍耐が試されているように強く思います。次に改めて第九を演奏する時は、今鬱積している思いの丈を心の底から歌い上げましょう。共に、高らかに！  
世界の時流が厳しく分け隔てていたものを、あなたの魔法の力は再び結びつける。その柔らかな翼が憩うところで、全人類は兄弟になるのだ。

# 聞かせてあなたの声 Voice

## イラストレーター appan あっぱん

(森 明日香)



三重県生まれ。顔はめ看板と、純喫茶をこよなく愛するイラストレーター。印刷会社でデザイナーとして働いていた頃からイラストレーターとして活動を始め、絵本の挿絵、ウエルカムボード、CDジャケットデザイン、コスプレ衣装デザインなど、繊細なガールズイラストからポップなキャラクターデザインまでジャンル問わず幅広く制作。  
Appan.amebaownd.com

あっぱんさんが描くイラストはトロファンタジーな世界観があります。彼女の作品はすべて手描きで、繊細で丁寧描かれています。

彼女が絵を描くことを好きになったのは、保育園の頃に窓ガラスに描いた絵を見て親戚の叔父さんが「ガラスに描いたら消えてしまうから勿体ない」と褒めてくれたのがきっかけとなったそうです。その後、小学生の頃に漫画家の『さくらももこ』の画集に出会い衝撃を受けます。子どもながらに当時の夢は、漫画家になることでした。友だちと交換日記ならぬ交換漫画で交流をして、中学生になると修学旅行の枝折の表紙を手がけます。そのイラストは当時の学年担当だった先生が今でも記憶に

残っていると話しています。この頃になると、漫画よりファッション画に興味を持ちます。高校は服飾デザイン科がある飯野高校へと進み、服飾コース目当てで進学しましたが、途中で《服を作る事よりもファッション画を描く事が好きなのだ》と気がつきデザインコースに進みます。

高校卒業後は、名古屋の専門学校『日本デザイナー芸術学院』に進学し、イラストレーター科の一期生として手探りで奮闘し、現在の作風が固まってきました。卒業後は印刷の知識も学べる地元の印刷会社に三年ほど勤務し、活躍の場を東京に移します。

「東京では、東日本大震災に遭遇して、死が一瞬頭をよぎり《私は東京では死ねない》》と思い、三十歳の

ときに四日市に戻りました」という。彼女のイラストはあくまでも趣味の延長線の一環で、それを生業にしたいと言いつ切ります。「自分の描きたいものを生涯描いていきたい」このスタンスを保ちながら現在、イラストの仕事以外に、コスプレ衣裳を販売する会社で外部デザイナーとしての仕事も時々しています。

「東京にいななくてもSNSを通じて依頼を頂けたのは、本当に光栄でした。一度は夢みていたファッションデザインの夢がまさか叶うなんて…。アイドルが好きなので、私のデザインした服をいつかアイドルが来てくれたら嬉しいなと思っっています」と大きな瞳を輝かせています。

(レポート 森 次男)



金銀の華やかな酒盃

酒が飲める人を心底うらやましく思う。美しい器を見るたびに思う。酔月陶苑を訪れると、金の鶴と桜が描かれた盃が飾られている。2016年に開催されたG7伊勢志摩サミットで、晩餐会の乾杯酒盃として使われた「萬古焼絵酒盃」だ。こんな器でちよいと一杯飲めたなら。なんて贅沢だろうと想像する。

館長の清水酔月さんに話を聞いた。高校を出て、検定に作品を出展したら入選。それをきっかけに、この道で働きだしたのが18才

四日市地域 まちかど博物館めぐり

## 「酔月陶苑」

だった。50年以上たった今でも、第一線で活躍されている。「デザインや技法など、今の時代に受け入れられるような新しい魅力を探しながら、古いものも再考しなければ」と、酔月さんは語る。

酔月さんという名は、祖父、父から継がれた3代目だそうだ。初代が生きた明治時代、四日市では、木型の型ばんこで製品を作っていた。積み木のように組みあわせて木型と、当時の急須を見せていただいた。手動だったろくろは、今ではテーブル代わりに使われてい



親子3代の清水酔月氏。左から3代目、2代目、初代。

る。昔使われていた道具の息づかいを感じた。酒を飲めずとも贅沢な気持ちになる。酔月陶苑は、たまらなく粋な場所だった。

(レポート 伊藤美香)

酔月陶苑(酔月窯)

四日市市南いかるが町十九-四

開館時間 九時~十七時 要予約

電話 ○五九一三三二一八二八



型ばんこの木型

子どもの頃、一度は作った経験のある折り紙。折り紙の歴史は古く、明治時代に幼稚園教育にとりいれられ、現在では、世界各地に広まり、折り紙愛好会の団体がいくつもできて盛んに活動を続けています。地元では、昨年六月、桑名の『ギャラリー寺町』にて『ORIGAMI展―紙折の鼓動―』に4人の折り紙グループの皆さんがそれぞれの作品を展示しました。

グループ代表の萩原潤一郎さんは「近年、折り紙の時代を切り拓いているコア層は、主にインターネットのツイッターで作品発表や情報交換をしあっています。その中でも三重県北部だけで、折り紙創作をする仲間が四人できたのでグループ展を開催しました」と話されました。

その中で、ひと際異彩を放ったドラゴンの作品に目を奪われました。作者は、市内の上海老町在住の(当時)高校三年生の藤波雄星さんです。

彼と折り紙の出会いは中学一年生の夏休みの終わりにさかのぼります。その日、ネットで見たドラゴンの折り紙作品に感動したのが



制作に3日以上を要するドラゴンの作品

## 折り紙アーティスト

藤波 雄星さん

訪問レポート

折り紙創作への第一歩に繋がりました。

お母様にお話を聞くと「折り紙の創作に入ると、食事する時間も惜しんで集中しています」と嬉しそうに話されます。

萩原さんは「藤波くんは、近年の主流である複雑折り紙創作の技法である『展開図を用いた設計』をします。つまり、彼が折り紙のドラゴンを設計する時、パソコン上の正方形の中に無数の直線を書き込み、その図形の通りに折り筋を付けて折り畳めばドラゴンになるのですが、これを習得するには、天性の勘か、とてつもない根気が必要です」と教えてくださいました。

後日、藤波さんを単独取材させ



ていただき、瞳や無数の牙までもリアルに表現されたドラゴンの頭部の折り方を見せてもらいました。慣れた手つきで折りだすと、約20分ぐらいで完成(上の写真)。全体を完成させるには三日以上を要するといえます。

萩原さんは「ほくには勘も根気もなくとも真似ることは出来ません。藤波くんの能力は、生まれつき持っている勘のよさと、ひとつのことを突き詰めて継続していく粘り強さの両方で成り立つものだと思います。」

藤波さんに夢を尋ねると「いつか個展を開催して、折り紙の魅力をたくさんの人たちに発信していきたいです」と熱く語りました。

(レポート 森 次男)



自慢のドラゴンの折り紙と藤波さん

## 路傍の自然石考

8

ヤマトタケルの「血の石」

吉川 宗明



血塚社

「血塚社」と呼ばれる祠がまつられている。江戸時代の地誌には次のように記される。

「陵墓 血塚 按、杖突坂にあり。

日本武尊、御脚やぶれ血流る、其の血を封せし處なりと云。」（藤堂元甫『三国地誌』一七六三年完成。「大日本地誌大系」第八冊、一九二六年所収版を参照）

「尊御足ヲ痛ミ其血ヲ洗淨サセ玉フ處ユヘニ血塚ト俗稱ス」（安岡親毅『勢陽五鈴遺響』二八三三年完成。「三重県郷土資料叢書」第二十五集、一九七五年所収版を参照）

もう一つは「石」にあったと思われる。血塚社の境内に集まっている無数の石たちは、どうやら単なる塚の石材ではないらしい。

「血塚社はミコトの足から流れ出た血を封じた場所とか、御神体がミコトの血がついた石であるという言い伝えがある。境内に石が積まれているのは、御神体が石であるからといって積む人がいるためであると言う。」（四日市市編発行『四日市市史 第五巻 史料編 民俗』一九九五年）

つまり、実際の遺骸がなくても、体の一部である血だけでも残されればそこは墓所になり、血がついた石はさしずめ遺骸（神体）となるということだ。私たちが故人や祖霊を偲ぶ墓石に通ずる思想を感じ取ることもできるだろう。

『三国地誌』ではヤマトタケルの血を封じた所と書かれ、『勢陽五鈴遺響』では血を洗い流した所と書かれる。微妙に差異が見られるのが興味深い。ヤマトタケルにとつて、あくまでもこの地は「通過点」であり、最後に神となった場所や亡くなった場所というわけではない。それでも、ここが墓所や神のおわす社とみなされたのはどうしてだろうか。

その根拠の一つは「血」であり、情念を感じる。

采女町の杖衝坂<sup>つえつきさか</sup>といえ、松尾芭蕉が「歩行ならば杖つき坂を落馬かな」と詠んだ東海道の急坂である。その名は古く『古事記』に由来し、伝説上の英雄として知られるヤマトタケルノミコト（日本武尊／倭建命）が、怪我を負って

たため杖をつきながら難儀したことから杖衝坂の名がついたという。『古事記』の話がどこまで実際の人物と場所をモデルにしたか窺い知ることは難しいが、現在では采女町のこの坂が伝説地とされている。杖衝坂を登り切ったところには

# パッションひろば

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

文芸ひろば

令和2年度 四日市市文化功労者

伊藤巨行さん生誕100年を祝う会

第71回 四日市市民芸術文化祭

この人を知る

四日市市文化協会後援イベントのご案内

## 文芸ひろば

### わすれな草集

昨二〇二〇年度の四日市短詩型文学祭は、残念ながら、コロナ禍のために中止せざるを得ませんでした。例年ですとこの号で、栄えある受賞者のお名前を掲載させていただくところですが、それが出来ません。そこで、過去の応募作品の中から、作品集を編んでいて印象深かった作品を、それも、惜しくも受賞を逃した作品を主に、短歌・俳句・川柳のおの五作品づつを取り上げ、短いコメントを付けました。名付けて「勿忘草」集です。

### 短歌

四日市・桜中学校

田川 明薫

似てきたね浴衣姿の鏡見て着付ける祖母がぼつり  
つぶやく

姿見に映る作者の浴衣姿に、作者のお母さんの娘  
時分を思い出したお祖母さんのつぶやき。機微をと  
らえた見事な感性。

四日市・富田中学校

伊藤 千紗

夏の午後日本舞踊のおけいこに帯をしめつつ気を  
ひきしめる

気だるい夏の午後にも、踊りのお稽古に着物を着  
て、帯をきりと締めると、背筋もびんと伸びて気  
が引き締まる。

四日市・富田中学校

濱中 桃子

万緑の山の深みの鍾乳洞神祕の姿に暑さ忘れる

万緑の山の深み、のフレーズが秀逸。それと鍾乳洞の神祕な世界の対比。重く湿ってひんやりとした空気。光輝く鍾乳石。

四日市・富田中学校

中島 麗

さざ波に耳をすませば屋久島の忘れられない思い出  
出っぱい

渚で耳にしたさざ波の音に、ひと夏、訪れた屋久島の様々な思い出が蘇ってくる。それは作者の一生の宝もの。

四日市・港中学校

糸内 瑞生

被爆した校舎の壁に触れてみる友と学べる幸せを知る

戦争の恐ろしさ惨たらしさを、作者は被爆した校舎の壁に触れた手で確かめたのだ。そして友と学べる幸せを知ったのだ。

### 俳句

四日市・海蔵小学校

三木 夏実

稲の穂が静かにゆれる通学路

毎日の通学路の、見慣れた風景の中で、風にゆれるまだ青い稲穂を見とめ、言い留めたのが作者の手柄。

四日市・内部中学校

坂口 歩奈美

亡き妹と歩いた小径に彼岸花

一読、せつない。道端に、燃え立つ火のような彼岸花が群生する。それは、今は亡き妹と辿った小径。言葉もない。

四日市・八郷小学校 藤木 謙  
夏の夜の時間がとまるセミの羽化

夜、穴から這い出した幼虫が木に登って羽化の時を待つ。作者はそれを息を詰めて見ている。それを、時間が止まる、という。

四日市・富田小学校 大野 雅月<sup>みづき</sup>

天井にうつるめだかのかげふたつ  
目高を水槽で飼育しているのだろう。ライトがどう当たっているのかは分からない。その影を天井に見つけた作者の驚き。

四日市・笹川中学校 加藤 るな

祖母の家久しぶりだね蚊帳の中  
今は蚊帳のある家は少ない。だが、お祖母ちゃんにはある。その匂い。その中で寝る気分。それはお祖母ちゃんそのもの。

### 川柳

四日市・八郷小学校 森 咲夕美

パパと行くあそびはすこし気をつかう  
女の子とパパのデリケートな関係。無神経なパパと違って、女の子の方は遊びに行くにもつついづい気を遣ってしまうのだ。

四日市・海蔵小学校 上野 朱理

夏の昼母には言えないまたそうめん  
またそうめんか、と思いつつも、みんなのご飯を作ってくれるお母さんには何も言えない。たまには

お肉なんかたべたいのに。

四日市・海蔵小学校 森岡 柚衣

おかあさんこえがちがうようちとそと  
家ではいつもガミガミがなり散らしているのに、外では猫なで声でお上品に。恐るべし子どもの目。

四日市・海蔵小学校 森岡 柚衣

おとうさんたんしんふにんたのしそ  
お父さんの生誕観察記録。お父さん、貴方のお子さんはここまでできつちりと見ているのですよ。ご用心、ご用心。

四日市・桜台小学校 田垣 玲美

ちよ金ばこチャリンがたりんに聞こえます  
何か買いたい物があって貯金をしているのだが、いろいろな誘惑に負けて思うように貯まらない。たりん、はその反省。

踊りやお芝居や音楽などが観客や聴衆がいないと成り立たないのと同じで、文学も読み手がいて始めて文学作品として完成します。そしてそれをどう読むかは読み手の自由です。但し、大切なことは、作品世界の中に作者の眼差しを見つけることです。その眼差しがどんな思いで何を見ているのか、その半分は読み手のものになります。

四日市短詩型文学祭実行委員会 西田 青沙

四日市市文化協会様 御用達 パネル用 “紙看板”  
フルカラーインクジェット大判プリント  
840x1600mm 4,400円～ 耐久クロス地、ターポリン地 他取扱い  
☎ (059) 353-3885

企業のイメージアップサポーター 〒510-0075 四日市市安島2-4-14  
株式会社 紺文デザイン http://www.konbun-d.com  
E-Mail info@konbun-d.com

# 令和2年度 四日市市文化功労者



## 四日市市文化功労者

### 〔文化財保護〕

#### 加田勝敏(かだかつとし)

前列左より4人目

●年齢 78歳

●住所 四日市市楠町

●推薦者 四日市市教育委員会

本市をはじめとする北勢地域を中心に三重県内の植生調査と研究に携わり、多数の論文・著作を執筆

## 一般社団法人四日市市文化協会

いけばな草月流の指導者として、長年にわたり地域での指導を熱心に行われるとともに、子どもたちを対象に体験教室を開催し、後進育成にも取り組んでおられます。また、本市の華道教授者連盟

代表、一般社団法人四日市市文化協会理事として広く市民にいけばなを鑑賞する機会を提供し、伝統文化を次世代に継承することに尽力されるなど、本市における華道の振興と後進育成に大きく貢献しておられます。

### 〔郷土史研究〕

#### 桂山孝夫(かつらやまたかお)

前列左より3人目

●年齢 77歳

●住所 四日市市川島町

●推薦者 川島地区連合自治会

移り行く川島地区の姿を後世に残すため、記録写真の撮影や歴史に関する聞き取り調査を行い、その成果を書籍等にまとめるとともに、小学校教員や児童を対象に歴史講義を行うなど地域への郷土史の啓発と継承に積極的に取り組んでおられました。また、広く本市の歴史を伝える書籍にも氏の郷土

史研究の成果が掲載されるなど、

長きにわたるひたむきな活動は、歴史や文化の継承だけでなく、地域の魅力の再発見を通じた郷土愛への醸成にもつながり、地域文化の振興に大きく貢献しておられます。

### 〔音楽〕

#### SUNSET POPS ORCHESTRA

前列左より1人目

●活動年数 47年

●住所 四日市市昌栄町

●推薦者 公益財団法人四日市市文化まちづくり財団

昭和48年の設立以来、本市を代表するジャズビッグバンドとして

積極的な演奏活動を行っておられます。中でも、本市出身で日本を代表するジャズサクソ奏者である田辺信男氏との共演歴は長く、互いに切磋琢磨しあい、本市の音楽文化を牽引しておられました。

### 〔華道〕

#### 熊本梨里(くまもとりり)

前列左より2人目

●年齢 79歳

●住所 四日市市三ツ谷

●推薦者 海蔵地区社会福祉協議会

議

令和3年2月6日

# 伊藤亘行さん生誕100年を祝う会

〜コロナウイルス禍の中で開催〜

私たち四日市地域ゆかりの「郷土作家」顕彰事業委員会では20年間に亘り、四日市市にゆかりの方で業績を残された方々を広く市民のみなさんに知っていただく活動を行っています。第70回四日市市芸術文化祭行事として顕彰事業委員会が開催したこの集いは、四日市が生んだ伊藤亘行という音楽家の存在を、多くの方々に知っていただく企画しました。

開催日の2月6日は、まさに伊藤亘行さんの100歳の誕生日にあたります。伊藤亘行さんは1921年四日市の川原町に生ま



れ、東京藝大研究科を卒業、声楽家として活躍しました。1950年の毎日音楽コンクールで最高賞を受賞、多くのオペラに出演し、初来日のカラヤン指揮の第九演奏会では、バリトンスソを務めました。

当初、生誕100年を祝う集いの内容は、文化会館第1ホールで、市民が参加する音楽中心のプログラムと、四日市の誇るピアニスト小林仁さんをはじめ、伊藤亘行さんと関わりがあった方々をお招きして座談会を行う予定でした。しかし、開催日が近づくにつれ、コロナ

感染拡大の状況が悪化し、歌や合唱はもちろんのこと、座談会についてもご高齢、東京からの参加ということで中止となりました。そこで会場を1000人規模の第3ホールに移し、参加者は50人までに制限して、内容も伊藤亘行さんの生い立ちや業績をDVDでご覧いただき、関係者から寄せられたメッ

セージの紹介、伊藤亘行さん作曲の小・中学校の校歌や四日市市歌をお聴きいただきました。

参加者からは、伊藤亘行さんの業績を初めて知ったという声や、コロナ禍の中でよくぞこのような会を成功させたとお褒めの言葉をいただきました。

伊藤亘行さんは、四日市に素晴らしい音楽文化の礎を築きました。今も彼の指導を受けた人たちが指導者や音楽家として、その業績を引継ぎ発展させています。

写真の冊子「四日市「うた」ものがたり オペラ歌手伊藤亘行の青春をご希望の方は

〒510-0085 四日市市諏訪町7-17 こちら文化部宛伊藤亘行さん係。お一人1冊限定、先着50人とさせていただきます。送料込み切手500円で頒布します。締切は3月末です。

伊藤亘行さん

伊藤亘行さんは、四日市に素晴らしい音楽文化の礎を築きました。

今も彼の指導を受けた人たちが指導者や音楽家として、その業績を引継ぎ発展させています。



写真の冊子「四日市「うた」ものがたり オペラ歌手伊藤亘行の青春をご希望の方は

〒510-0085 四日市市諏訪町7-17 こちら文化部宛伊藤亘行さん係。お一人1冊限定、先着50人とさせていただきます。送料込み切手500円で頒布します。締切は3月末です。

## 賛助会員 (順不同・敬称略)

### 法人会員

- (株)シー・ティー・ワイ
- (株)第一楽器
- (学法)富田文化学園
- 茶道具 山水園
- (一社)セントラル愛知交響楽団
- 四日市クラシックファンクラブ

### 個人会員

- 一見 政幸 中川 正春
- 田中 俊行 永田 正巳
- 津田 健児 樋口 博己

文化協会活動にご理解とご支援をいただいている皆様です。

# 第71回 四日市市民芸術文化祭

(令和3年度)

主催 四日市市 一般社団法人 四日市市文化協会

開催日	催名	会場
6月	5(土)・6(日) 第29回 能楽をたのしむ会	四日市市勤労者市民交流センター本館／ホール
	6(日) 大人の朗読の会	四日市市文化会館 第3ホール
	11(金)～13(日) 四日市アート展 2021	四日市市文化会館 第1・3・4展示室
7月	11(日) 四日市王位戦将棋大会	四日市市文化会館 第3ホール
8月	7(土)・8(日) 見て体験する美術展	四日市市文化会館 第1展示室 (ABCD)
	7(土)・8(日) ネイチャーフォト+「α」市民公募展	四日市市文化会館 第3展示室
9月	19(日) 邦楽まつり	四日市市文化会館 第2ホール
	18(土)・19(日) 第56回 秋の文化祭 2021	あさけプラザ
	26(日) 四日市の第九	四日市市文化会館 第1ホール

上記は令和2年10月23日現在の内容です。今後の情勢の変化により中止になる催物もございます。

開催情報は四日市市文化協会ホームページをごらんください(四日市市文化協会 で検索)。

お問い合わせは、催し別担当者か市文化協会…TEL・FAX：059-351-3729(月～金曜日の13～17時)

## 「四日市ほのぼのの公募作品展」(文化協会自主事業)

作者の顔が見え、観覧者と交流のある作品展を開催します。  
団体に所属していなくても大丈夫。個人の創作活動作品を広く募集します。

- 対象 四日市市内在住・在学・在勤の方(年齢不問)
- 内容 1ブース幅300cm×奥行150cmの空間に展示できる絵画や手工芸作品等
- 日時 7月24日(土)・25日(日) ●場所 四日市市文化会館 展示棟2階 第1展示室 CD  
※7月23日(金)14時～20時まで作品を持ち込んで展示していただきます。
- 参加費 1,000円(高校生以下無料です)
- 申込方法等お問い合わせは 文化協会事務局(電話 351-3729)へ

〜クラシック音楽が楽しめる街に〜主な活動〜

## 四日市クラシックファンクラブ

本館のホールコンサート開催を続ける。コンサートが盛りだくさんに。クラシック音楽を愛する方、聴きたいコンサートの方のサポートや企画。本館や他館で開催されるコンサート、各ファンクラブ主催演奏会(無料演奏)。

**【活動内容】**2021年10月1日(日)クラシック音楽演奏会(無料演奏)

- 第1回クラシック音楽演奏会(無料演奏)10月1日(日)14時開演
- スプリングコンサート(無料演奏)10月1日(日)14時開演
- センターホールコンサート(無料演奏)10月1日(日)14時開演

10月1日(日)14時開演。ホームページ: <http://www.kscf.or.jp>

【メール】[kscf@kscf.or.jp](mailto:kscf@kscf.or.jp) 問い合わせ <http://www.kscf.or.jp>

TEL: 059-351-3729  
四日市市文化会館 1-17  
こから文化館内  
TEL: 059-354-0771  
TEL: 059-422-2564  
四日市

# この人を知る

## 第6回

### 島崎 守さん



島崎守さんは、全国8カ所の工場夜景エリアの写真を対象とした「工場夜景・美の祭典」フォトコンテスト2016で最優秀作品賞を受賞されたフリーカメラマンです。実は本誌パッションの表紙の写真も島崎さんの撮られた作品です。今回は、四日市のコンビナート夜景と写真を撮る際のこだわりについてお話を伺いました。

いつから写真は撮られているのでしょうか？

中学生の頃、写真部に属しておりまして、その時分から写真は撮っております。ですのでハマるきっかけなどはほとんど覚えていませんが、好きだったのでしょう。カメラは呼吸のようなものです。

四日市港のコンビナート夜景を撮



るようになったきっかけとしましては、元々は頼まれたからでした。コンビナート夜景と耳にしても、今ひとつピンとこない方も多いかもしれませんが。私自身撮り始める前は、本当に大丈夫だろうか、と不安に苛まれたこともありましたが、撮ってみると日常なら中々撮ることも見ることもできない景色に出会えて面白い。地元四日市にもこんな表情があるのだと驚かされることもあります。

**写真を撮る時に気をつけていることは？**

何より、天候などの条件が揃いそうか事前にリサーチが必要なことですね。カメラを撮る場所で雨風が強いと三脚がブレるなど、中々思うように撮ることはできません。そこでそういった日は避けるために天気予報を見るだけでなく、自分で空を確

認します。また、光が足りない、夕日が眩しすぎるなど、あらゆる条件に左右されるので、長時間に渡って同じ場所で極寒の中、ジツとしていることもあり。人の動き、車の動き、カメラの動き一つで望んだ景色からかけ離れてしまいますから、調査から撮るに至るまで、細心の注意を払って撮影に臨んでおります。

ちなみにカメラのレンズは標準レンズと望遠レンズの2つをいつも持っていくのみで、カメラそのものを何台も用意することはしておりません。カメラに特別こだわりはありません。技術でカバーしますから。(笑)

**今後も続けていきたいですか？**

もちろん。私の写真を望む人たちがいる限り、私は写真を撮り続けたいと考えておりますよ。写真を通じて地元の良さを発信する。写真しかない私にとって、最高に幸せな活動ですから。

**技術でカバー！ 本当に素晴らしいですね。写真の構図などはどのように考えておられるのでしょうか？**

基本的には、バランスを意識しています。バランスと一口にいても

島崎さんの地元の良さを発見して発信したいという純粋な思いと、湧き上がる探究心が折り重なり、その上計算づくで撮られた写真は、コンテスト最優秀賞や地元四日市だけに止まらず、あらゆる人々の心を驚かすみにすることでしょう。今後とも、自然との調和、人々の心を揺さぶる写真をお願いいたします。

(インタビュー 小崎裕貴)

## 一般社団法人四日市市文化協会 後援事業

本号発行から次号までの間の催事をご案内します。催事については各問い合わせ先におたずね下さい。

### 手描き染め 彩の会展

日 時 4月9日(金)～11日(日)  
10:00～17:00(最終日16:00終了)

会 場 四日市市文化会館 第3展示室

主 催 彩の会

入場料 無料

後 援 四日市市 四日市市教育委員会 中日新聞社  
(公財)四日市市文化まちづくり財団

問い合わせ ☎ 080-3065-2828 伊藤 佳子

### 第65回 石井アカデミー・ド・バレエ発表会

日 時 5月16日(日) 13:30開演

会 場 四日市市文化会館 第2ホール

主 催 石井アカデミー・ド・バレエ

入場料 整理券

後 援 四日市市 中日新聞社

問い合わせ ☎ 059-354-1269 石井 亨

### 四日市交響楽団 第43回定期演奏会

日 時 4月25日(日) 13:30開演(12:45開場)

会 場 四日市市文化会館 第1ホール

主 催 四日市交響楽団

入場料 前売 大人1,000円 当日 大人1,200円  
小学生・中学生は入場無料

後 援 四日市市 四日市市教育委員会 中日新聞社  
(公財)四日市市文化まちづくり財団

問い合わせ ☎ 059-351-0065 前嶋 喜三也

令和3年9月15日以降の四日市市文化協会後援事業の予定がありましたら、この誌面にて告知を掲載しますので事務局までご連絡ください。

# 元気な四日市が好き!!



## 四日市市文化協会入会のご案内

### 四日市市文化協会は

- ・ 四日市市民芸術文化祭を企画、運営します。
- ・ 文化情報誌『パッション』を発行します。
- ・ 文化団体の育成、支援をします。
- ・ 他市町文化団体との文化交流をします。
- ・ 子どもの文化活動を支援します。
- ・ 催し物のサポートをします。

### 年会費

正会員(個人) 2,000円/人  
正会員(団体) 会費は構成人数により異なります。

賛助会員(個人) 5,000円/一口  
賛助会員(法人) 10,000円/一口

構成人数	1～3人	4～10人	11～20人	21～30人
金 額	2,000円	7,000円	10,000円	12,000円
構成人数	31～40人	41～50人	51～100人	101人以上
金 額	15,000円	18,000円	25,000円	30,000円

- ・ 入会は随時できます。
- ・ 詳細は事務局までお問い合わせください。

但し、中学生以下は金額計算には入れません。

## リレーエッセイ

私は、合唱部門運営委員及び理事に就き、協会の仕事をさせていただき、様々なことを知りました。今まで触れることのなかった組織運営・予算・市との折衝・各部門との連携等々。そして協会の発展のためにご尽力された方々。この地道な活動のお陰で今があることを痛感し、微力ながらもお役に立てるよう、残りの任期を全うしたいと考えています。

ここで合唱部門についてですが、合唱部門は、合唱を愛する18団体で構成され、一団体10〜80歳代までの7〜80人で、18団体で総勢497人と協会部門で最多となります。これらの団が一年に一度合唱祭として、それぞれ選曲はもち



## 次へのエール 若尾 典子

ろん衣装等趣向を凝らし、ここぞとばかりに自己PR!!それはそれは圧巻です。この合唱祭を仕切るのに、年間3回各団代表者会議を開催。新年度の顔合わせと方針・具体的な進捗計画・反省等を中心に団の課題や情報交換をしています。初めて参加した時、このようにシステマティックに運営されていることを知り、ただただ感心するばかりでした。すべての参加団体の役割分担と協力、秒刻みのスケジュール。そして次へのエール。このルールを作った先人たちに畏敬の念を持ったことが、今の私のモチベーションとなっています。

どの部門も次期世代の育成については課題ですが、このようなシステムがある合唱部門は、団や部門の努力で今後も発展し続けると確信しています。

With コロナの時代、新しい日常の中で、この危機を乗り越え、これからも文化に親しみ楽しんでいきたいと思えます。

## 理事長ひびき

荒木 栄里子

新春雑感「めでたきものは平凡なり」と題し、鈴鹿大泉寺ご住職の衣斐弘行さんを講師にお迎えして、阪神淡路大震災から26年目の2021年1月17日に新春懇話会が催されました。

普段の生活が注意深い日常に変わり、最初のコロナ感染からはや1年、5月から10月までの文化祭行事はすべて中止となり、やっと11月から展示関係の行事を、12月には舞台関係も感染予防対策を十分に整え開催に至りました。制限の中でしたが、各催しには多くの出展や観客があり、冬ごもりのあとのように明るく艶やかにマスクごしにも華やぎました。

発表を目指して練習を積むこと、作品を創作すること、人と繋がること、話すこと、笑うこと、平凡な毎日が生命そのものです。文化活動は不要不急かもしれないませんが、健やかな平凡の大切な要素であると思えます。ライブ配信やリモートなど、為せることを探りながら新しい平凡に向かって考えています。

## 編集後記

●昨年は、梅も桜も楽しむことなく、夏祭りや紅葉で酒盛りをするこもなく、お正月はあつという間に過ぎてしまい、暑さ寒さすら上の空で過ごした1年だった。人生の節目となるはずの還暦の年は、こうして終わってしまった。となれば、還暦など無かった事にしても良からうと思ふ。(順)

●今回は「ものづくり」に心血を注ぐカッコイイ様子を拝見しました。それにひきかえ自分は、と氣後れしそうになりましたが、そういうのはこつこつ作っているものがありました。それは朝昼夕のご飯! コロナ禍で外食の機会が減り、ご飯とお茶を1日中炊き続けているような日々。お昼を食べながら「夜は何を作るう」などと言い笑われています。これも記録に残せば立派な足跡になりそう。世のご飯担当者様、毎日お疲れ様です。(智)

## 不易流行

### 伊勢木綿のこと

一面の菜の花畑、それが昔の四日市の、春の田園風景だった。そこに、江戸の頃には、菜の花畑もあっただろうが、秋には夜目にも白い綿畑が広がっていたはずだと思っている。

伊勢木綿とか伊勢縞と呼ばれる綿織物があって、安価で丈夫だったから、江戸の大店の、丁稚や手代たちの仕着せにされたという。産地は主に松阪と四日市だった。雑俳に「松阪縞を越えて入婿」とあるのは手代が望まれて主家のお嬢さんの入婿になったことをいう。その松阪縞がブランド化し、高級品となってからは、四日市がもっぱら仕着せに使う伊勢木綿の生産地となったようだ。

ところが、管見かも知れないが、どこをどう漁っても、四日市の歴史資料に伊勢木綿のことは出てこない。

天保の頃の桑名藩の下級武士の日記に、綿繰りの手内職のことが出てくるから、家内工業や農家の内職などの形での産業はあったのだろうが、それも、生産方式が近代化し、巨大な紡績工場が出来ると、あっさりと駆逐され、忘れ去られてしまったのだろう。

(西田青沙)

## パッション 68号

●発行 令和3年3月15日

●発行人 荒木 栄里子

●編集 パッション編集部

森 次男 (編集長)

石井 亨・伊藤 順子・伊藤 美香

小崎 裕貴・中村 智恵子・吉川 秀道

西田 青沙 (オブザーバー)

●発行所 一般社団法人四日市市文化協会

〒510-0057 四日市市昌栄町 21-10

TEL・FAX 059-351-3729

●デザイン・レイアウト 高田 敦

●印刷所 水九印刷株式会社



新型コロナウイルス感染拡大防止への取組み

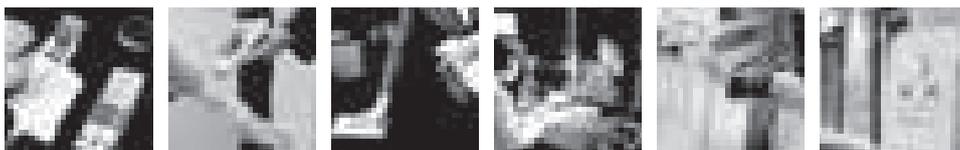
# “Miyako Clean Guarantee” 「都クリーンギャランティ」の導入について

都ホテルズ&リゾートでは、お客様に安全で快適にご利用いただくために、新たな衛生・消毒基準として、Miyako Clean Guarantee「都クリーンギャランティ」を、導入しております。

「おもてなし」の精神はそのままに、適切な人と人の距離の確保や徹底的な衛生管理など、「新しい生活様式」に適応しながら、お客様と従業員の健康と安全を守るため万全を尽くしてまいります。

お客様には何かとご不便とご面倒をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

従業員一同、皆様のご利用をお待ち申し上げております。



## 都ホテル 四日市

ご予約・お問い合わせ／宴会予約

☎ 0120-385-179 (10:00 ~ 18:00)

〒510-0075 三重県四日市市安島1-3-38

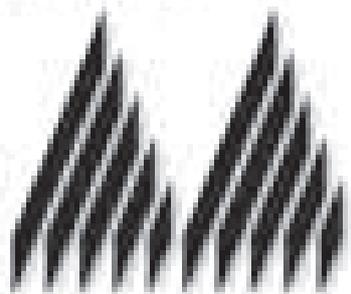
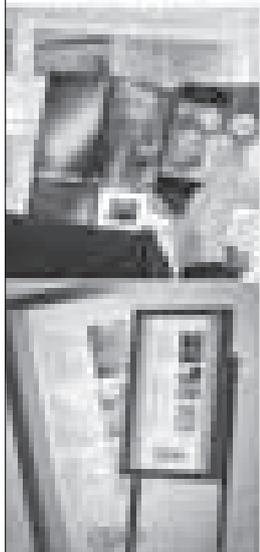


水

印刷製版印刷事務を軸にデザイン企画。

WEB制作、デジタルサイネージ(電子看板)、AR(拡張現実)。

幅広くお客様のあらゆるニーズにお応えしております。



# MIZUKU

## 地域と共に140年。

創業(1879年(明治10年))を経て私達社員に感謝し続けます。

あなたの想いを  
カタチに実現する



## 水九印刷株式会社

〒500-0001 三重県津市津市南町1-1-1

TEL 059-333-6600 FAX 059-333-6608

E-mail [info@mizuku.co.jp](mailto:info@mizuku.co.jp) [www.mizuku.co.jp](http://www.mizuku.co.jp)



地上デジタル **12ch**

# N ケーブル News

## 月～金の18時から ケーブルNews

ケーブルNewsは、行政の動きや地域の出来事、  
催し、気象情報など三重県北勢地域の情報が満載。  
首長自らの言葉で町の動きを語ってもらうコーナーの他、  
新聞記者による解説、中継もあります。

月曜日～金曜日 18:00～



無料  
アプリ

CTY

CTYコネクトでもLIVE配信中!

今すぐダウンロード! ▶



Download on the  
App Store

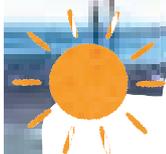
GET IT ON  
Google Play

\*アプリのダウンロードには通信費がかかる場合がございます。

地域の活動や知ってほしいこと、伝えたいこと、情報をお寄せください。

# CTY FM 76.8 MHz

四日市発、  
地域と人をつなぐ  
ステーション



## Morning Wave 生放送

月曜日～金曜日 7:00～8:54

四日市・孤野を中心とした北勢地域の情報満載でお届けします。  
あなたの朝をしっかりサポート!



## Evening Wave 生放送

月曜日～金曜日 16:00～18:49

あなたが知りたい地元の情報満載の3時間。  
1日の疲れを素敵なおしゃべりと音楽で癒やします。



## 災害への備えとして、アプリをダウンロード!

公式アプリを使えば雑音も無く快適にラジオをお聴きいただけます。  
災害時には防災ラジオとして緊急情報などを随時放送。災害への備えとして、  
今すぐダウンロード!



「FMプラプラ」アプリを  
ダウンロードして  
いただき、  
CTY-FMを選局して  
ください!

\*アプリのダウンロードには通信費がかかる場合がございます。

安心 信頼  
快適 充実

株式会社シー・ティー・ワイ  
0120-30-6500 9:00～17:00(月～土 祝日を除く)  
\*変更となる場合があります。

詳しくは  で検索!  
<https://www.cty-net.ne.jp>

